目次

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

正しくお使いいただくことでお使いになる方への危害および、財産への損害を未然に防ぐことができます。安全のために以下の警告事項、注意事項をお守りいただき、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「安全上のご注意」の絵表示

警告	注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。記号の中や近くに注意内容が示されています。

例）

「感電注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為（やってはいけないこと）を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）

「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）

「電源プラグを抜く」を表す絵表示

注意

本製品は以下のようなところ（環境）で使用および保管をしないでください。
故障の原因となることがあります。

- 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど）場所での使用（保管時は問題ありません）
- 湿気が多いところやホコリが多いところ
- 直射日光があたるところ
- 温湿度差の激しいところ
- 水気の多いところ（台所、浴室、水辺、海岸など）
- 腐食性ガス、油煙の中
- 静電気の影響が強いところ
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーター、コンロなど）
- 強い磁力電波の影響を受けるところ（磁石、ディスプレイ、スピーカなどの近く）
- 振動や衝撃の加わる場所や傾いた場所
- 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど）場所での使用（保管時は問題ありません）

禁止

本製品は精密部品により構成されています。以下のことにご注意ください。

- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に飲み物などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

厳守

ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがをしたり、接続機器の故障の原因になります。また、ケーブルの上に重いものを載せないでください。じゅうたんの下などに配線したときは気づかず重いものを載せてしまいがちですので十分注意してください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が溶けたり、破れたりし、接触不良などの原因になります。

厳守

ほかの電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼし電波傷害をひきおこすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、音声が乱れたり、画像が乱れたりする場合があります。その場合は次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- テレビやラジオのアンテナの向きを変えてください。
- コンセントを別に分けてください。

安全上のご注意

	長時間に渡って映像をみるばあいは一定の間隔で休憩をとってください。また部屋を真っ暗にすると目に疲労が蓄積されますので部屋を適度に明るくしてご覧ください。
	排気ファン動作中は電源ケーブルを抜かないでください。冷却ファンの回転音が止まり、主電源をオフにしてから電源ケーブルを抜いてください。
	ランプモジュールのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。ランプモジュールのプラスチック部分以外は、絶対にさわらないでください。破損する恐れがあります。
	ご使用直後はランプモジュール部分は大変高温になっています。絶対に触れないでください。ランプモジュールの交換はご使用後１時間程度放置し、余熱が完全に取れてから行ってください。やけどの恐れがあります。
	ランプモジュールを落とさないようご注意ください。ガラスが散り、けがをする恐れがあります。
	指定の電池（単4型乾電池）以外は使用しないでください。指定以外の電池を使用した場合、故障の原因となります。
	電池を使い終ったときや、長時間使用しない時は取り出してください。 電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けが、故障などの原因となります。
	取り付け時には、極性に十分注意して取り付けてください。（電池には＋極とー極があります。）故障の原因となります。
	本製品を使用中にデータなどが紛失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

安全上のご注意

警告

煙がでている、へんなにおいがする、へんな音がするなどの異常が発生したときはすぐに使用を中止してください。万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。

本製品を濡らさないでください。水気の多い場所で使用しないでください。お風呂場、台所、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。

本製品を設置するときは、他の機器、壁などから適当な間隔をとってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。目安として10cm以上の空間を空けてください。

本製品は紙、布などの柔らかいものや軽いものの上に設置しないでください。通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）に吸いついて内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。

本製品を使用するときは近くに燃えやすいものを置かないでください。
火災の原因となることがあります。

温度差のある場所への移動するとき、表面や内部が結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用するところで電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。

改造・分解はしないでください。お客様により修理は行なわないでください。
火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。

本製品内部へ異物を入れないでください。金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。特に通風孔には異物がはいらないよう注意してください。

ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

使用中はレンズをのぞかないでください。
レンズからは非常に強い光が発せらていて、目を痛める原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

安全上のご注意

禁止

リモコンのレーザー光を目にあてたり、人の目にあてたりしないでください。
目を痛める原因となりますので、絶対にのぞき込まないでください。本リモートコントロールにはクラスIIレーザーが装備されています。

禁止

本製品は下記のようなところで使用しないでください。
故障の原因になったり、思わぬ事故のもとになります。

- ほこりの多いところ
- 振動や衝撃の加わるところ
- 不安定なところ
- 通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）がふさがるとこ
- 温度差の激しいところ
- 水分や湿気の多いところ
- 温度が高いところ

禁止

使用中や使用後は排気孔（レンズのある面）およびその回り、設置台が熱くなります。
やけどの原因になりますので、触らないでください。

厳守

ランプモジュールを交換するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となります。

禁止

ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因になります。

- 引っ張ったり、折り曲げたりしない
- 圧力をかけたり、押しつけない、ものをのせない
- 加工しない
- 熱器具のそばで使わない

厳守

電源プラグはほこりが付着していないことを確認して使用してください。接触不良で火災の原因になります。電源プラグは根本までしっかりさしてください。根本までさしてもゆるみがある場合は接続しないでください。販売店や電気工事店に依頼し、コンセントを交換してください。電源コンセントはたこ足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側の補助電源への接続をしないでください。

厳守

電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行なってください。
電源コードを引っ張るとケーブルが傷み、火災の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で行なわないで下さい。濡れた手で行うと感電の原因になります。

安全上のご注意

禁止

電池の液が漏れたときは、液に触れないでください。

- 電池の液が目にはいったり、体や皮膚につくと失明やけが、炎症の原因となります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
- 液が体や衣服についたときすぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがが症状があるときは、医師に相談してください。

厳守

電池は小さなこどもの手の届かない場所に置いてください。電池は飲み込むと、窒息したり、胃などに障害をおこしたりする原因になります。万一、飲みこんだときは、ただちに医師に相談してください。

禁止

（+）（ー）を金属類で短絡させないでください。液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。

厳守

電池から液が漏れたら、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液やそこから発生する気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。

禁止

電池を火の中に入れたり、加熱・分解・改造・充電しないでください。また、水で濡らさないでください。
液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。

厳守

注意

発火注意

電源ケーブルを取り扱つかうときは以下のことにご注意ください。

- 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブルを加工しないでください
- 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷み、火災・感電・故障の原因となります。
- 濡れた手で電源ケーブルのプラグをコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手で本体に触らないで下さい。感電の原因となります。
- 電源ケーブルのプラグは根本までしっかり差し込んでください。ほこりが付着していないことを確認してからおこなってください。接触不良で火災の原因となります。

厳守

本製品を使用する際は、接続するパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

安全上のご注意

設置場所について

本プロジェクタは200wのランプを使用しており、内部が大変熱くなります。以下の設置場所をお守りください。

● 風通しの良いところに設置してください。内部に熱がこもらぬ様、充分注意し、通風孔（レンズに向かって右側面と背面）をふさぐことなく、充分な空気循環ができるようにしてください。
● 高音になる場所には設置しないでください。直射日光にあたる場所や、熱器具（ストーブ、ヒーター、ホットカーペットなど）の近くに設置しないでください。
● 屋内で使用してください。屋外で使用することを前提に設計されてません。故障の原因になります。
● 設置場所の強度が充分あるところに設置してください。高い場所への設置時は、ぶつかったり、落下したりしないことを充分に注意し、安全に設置してください。
● 油煙や腐食性のガスのあるところには設置しないでください。
● 振動や連続的な衝撃の加わるようなところには設置しないでください。

見る場所について

● 画面との距離を適度にとってご覧ください。
● 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度な明るさの中でご覧ください。長時間見るときは適度に休憩をしてください。

お手入れについて

● レンズや本体が汚れたときは乾いた柔らかくきれいな布等で軽く拭いてください。汚れがひどいときは柔らかくきれいな布に水または中性洗剤を含ませて良く絞ってから軽く拭いてください。
● 水滴などがレンズについた場合はすぐに乾いた柔らかくきれいな布等で拭いてください。そのまま使用すると、表示面が変色したり、シミになったりする原因となります。また、水分がつくと故障の原因となります。
● 清掃を行なうときは、かならず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

廃棄について

廃棄するときは、地方自治体が定める条例にしたがってください。

ランプの寿命について

- 本製品で使用しているランプモジュールには寿命があります。標準約２，０００時間になります。交換時期になると警告メッセージが画面内に表示されます。ランプ交換のページの方法に従い、ランプモジュールを交換してください。
- ランプは消耗品扱いです。
- ランプモジュールの寿命はあくまで目安として提示されるもので、この限りではない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ランプの寿命について
  ランプは個々の特性により、大きく差がございます。また、ご使用条件、環境、使用経過による劣化などにより、大きく寿命が異なる場合があります。予め交換用ランプを準備しておく事をお奨めいたします。

その他注意事項

- 保管時は高温多湿を避け、ほこりなどが進入しないよう保管して下さい。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 持ち運びするときは、付属のソフトケースに入れて衝撃をあたえたり、雨に濡らしたりしないよう注意してください。
- レンズは傷つき易いので硬い物でおしたり、こすったり、たたいたりしないでください。また、強い圧力をレンズおよび周囲に与えないで下さい。破損の恐れがあります。
- やむを得ず宅配便などで郵送する際は、オプションの専用ハードケースを利用するか、購入時のダンボールとクッションをお使いすることをおすすめします。
- Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Me、Windows 2000、WindousXP、WindowsVISTAは米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することはかたくお断りいたします。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更するばあいがあります。

VCCI

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

安全に関する情報

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス(修理点検法など)に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

警告: 火災および感電の恐れがあるため、本機器を雨や湿気にさらさないでください。筐体内部には、危険な高電圧が存在します。キャビネットを開けないでください。開けるときは、専門技術者にご依頼ください。

Class B デジタル装置に関する制限

本Class B デジタル機器は、カナダ障害原因装置規制 (Canadian Interference-Causing Equipment Regulations) のすべての 必要条件を満たしています。

安全に関する大切な指示

1. 通気口を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気口を塞がないような場所に設置してください。例えば、飲み物等を置いたままのコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
2. プロジェクターは、水気や湿気のあるところで使用しないでください。プロジェクターを雨や湿気にさらさないようにしてください。火災や感電の原因になります。
3. ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器(アンプを含む)など、熱源のそばに設置しないでください。
4. 乾いた布で拭いてください。
5. 製造元の指定する付属品/アクセサリのみを使用してください。
6. 物理的に破損している、または乱暴に扱われた痕跡のある装置は使用しないでください。物理的な破損/乱暴な扱いとは、次のような場合を言います（但し、これは一部の例です）。:
   - 装置を落下させた。
   - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
   - プロジェクターに液体をこぼした。
   - プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
   - プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。

   お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
7. プロジェクター内部に、異物や液体が侵入しないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
8. 安全標示については、プロジェクターの筐体をご覧ください。
9. 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。

安全上のご注意

この取扱説明書にあるすべての警告、安全上のご注意、および推奨されるメンテナンス方法に従ってください。

- 警告- ランプ点灯中は、プロジェクターレンズをのぞかないで下さい。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- 警告- 火災や感電の原因となるため、本プロジェクターを雨や湿気にさらさないようにしてください。
- 警告- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。
- 警告- ランプを交換する際は、本体を十分に放熱させてから行ってください。 50～51ページに記載の手順に従ってください。
- 警告- 本プロジェクターは、ランプの寿命を自動的に検知します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。
- 警告- ランプモジュールを交換した場合は、オンスクリーン表示の[システム|ランプ設定]にある[ランプリセット]機能を使用してリセットします（41 ページを参照）。
- 警告- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターは、少なくとも90秒間、放熱させてください。
- 警告- プロジェクターの動作中に、レンズキャップを取り付けないでください。
- 警告- ランプの寿命に近づくと、画面に「ランプを交換してください。」というメッセージが表示されます。できるだけ速やかに、最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。

Note

- ランプが寿命に達すると、ランプモジュールを交換するまでプロジェクターの電源は入りません。「ランプの交換」（50～51ページ）に記載の手順に従ってランプを交換してください。

推奨事項:

- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレー筐体は、中性洗剤を軽く湿らせた柔らかい乾いた布で拭いてください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止事項:

- 本体の通気用のスロットや開口部を塞がないでください。
- 本体を研磨材入りクリーナー、ワックス、溶剤などでお手入れしないでください。
- 以下のような環境下では使用しないでください:
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
    - 室温が 5～35℃ の範囲に保たれていることを確認します。
    - 相対湿度は5 - 35° C、80% (最大)で、結露のない環境で使用します。
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場を生成する機器の近く。
  - 直射日光の当たる場所。

目の安全に関する警告

- プロジェクターの光線をまっすぐ見つめたり、光線の方角に直接顔を向けることは避けてください。できる限り光線には背を向けるようにしてください。
- プロジェクターを教室で使用する際に、画面上の何かを指し示すことを学生に求める場合は、適切に指導してください。
- ランプの消費電力を最小限に抑えるために、部屋のブラインドを下ろして周辺光のレベルを下げてください。

パッケージの内容

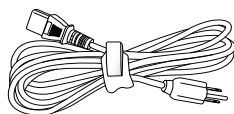
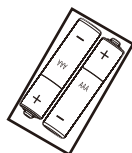
お買い上げいただいた製品の入っていた箱を開け、以下の付属品がすべて入っているか中身をよくお確かめください。万一、不足品がある場合は、お近くのカスタマー サービスセンターにご連絡ください。

レンズ キャップ付プロジェクター

電源コード 1.8m

単 3 電池 （2本）

IR リモコン

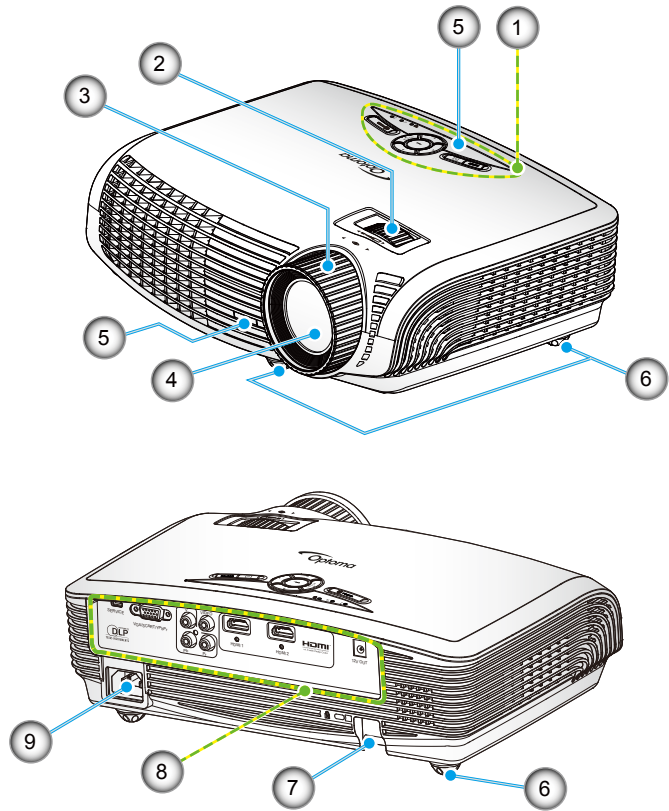
Note

❖ 付属品はお住まいの国や地域によって異なる場合があります。

文書：

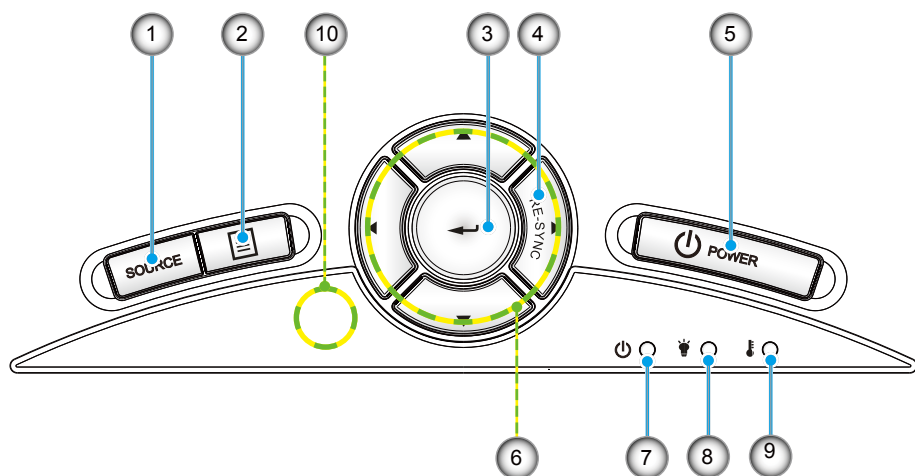
☑ ユーザーズマニュアル
☑ 保証書
☑ クイック スタート カード
☑ WEEE カード (EMEA専用)

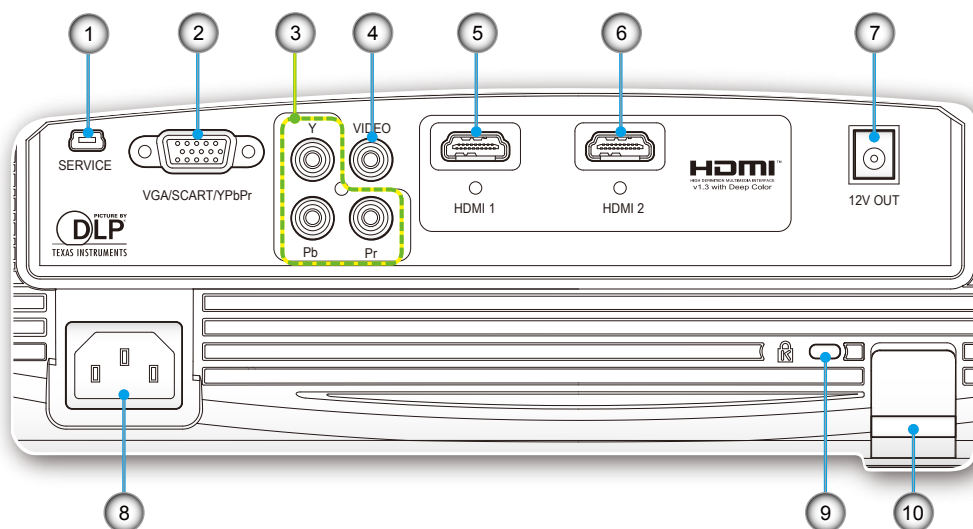
電源コードについて注意事項：

1. 必ずアース接続を行ってください。
2. アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してか ら行って下さい。
3. 本製品付属電源ケーブルは日本国内仕様（AC100V）になりますので、海内での使用できません。

製品の各部名称

本体

1. コントロールパネル
2. ズームリング
3. フォーカスリング
4. ズームレンズ
5. 赤外線レシーバー
6. チルト調整フット
7. セキュリティバー
8. 入/出力 接続端子
9. 電源ソケット

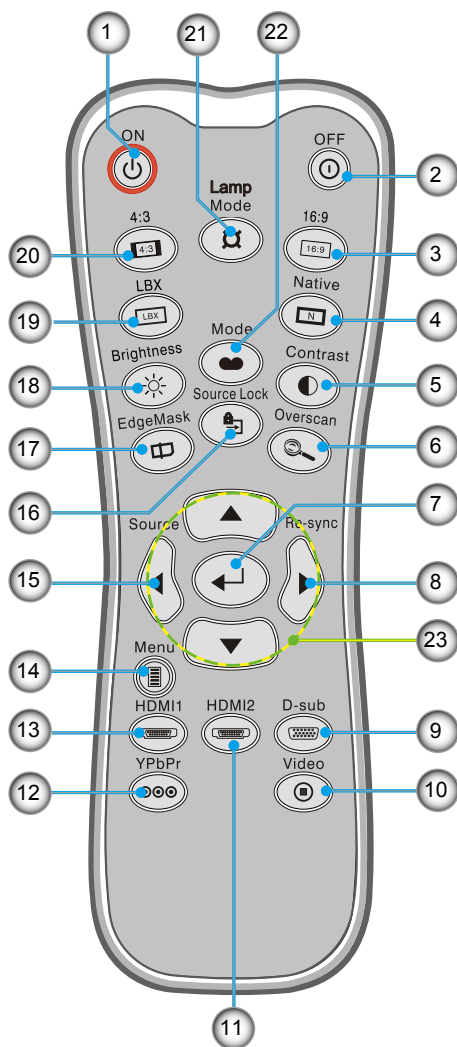
コントロールパネル

1. ソース
2. メニュー
3. エンター
4. 再同期
5. 電源
6. 4 方向選択キー
7. オン/スタンバイ LED
8. ランプ インジケータ LED
9. 温度インジケータ LED
10. キーストーン補正

入/出力 接続端子

1. サービス端子
2. VGA/SCART 端子
   (PC アナログ信号 / コンポーネント ビデオ入力 / HDTV / SCART用)
3. コンポーネントビデオ入力端子
4. コンポジット ビデオ入力端子
5. HDMI 1 コネクタ
6. HDMI 2 コネクタ
7. 12Vトリガーリレー端子
8. 電源ソケット
9. Kensington™ ロックポート
10. セキュリティバー

Note

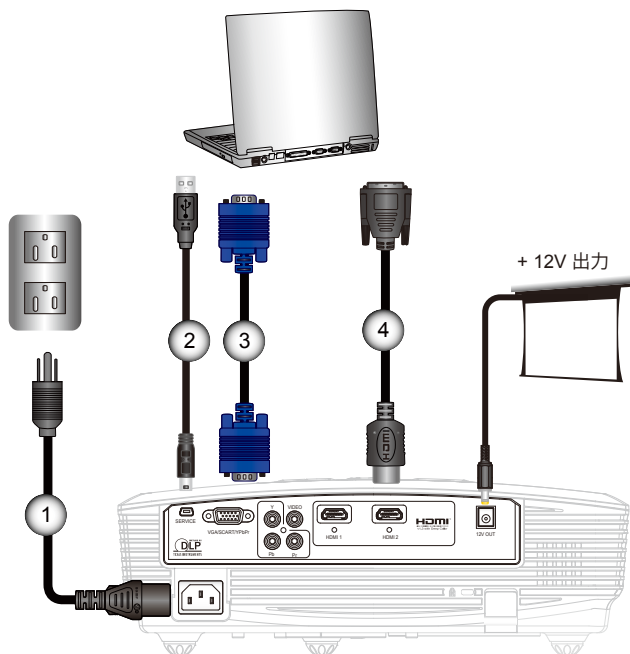
- [12V OUT] は、トリガ制御のみに使用します。電源供給用ポートではありません。
- [12V OUT] は、プロジェクタの電源が入ったときに有効になり、プロジェクターの電源を切るまでその状態が続きます。

リモコン

1. 電源オン
2. 電源オフ
3. 16:9
4. Native
5. コントラスト
6. オーバースキャン
7. エンター
8. 再同期
9. D-Subソース
10. ビデオソース
11. HDMI 2 ソース
12. YPbPrソース
13. HDMI 1 ソース
14. メニュー
15. ソース
16. ソースロック
17. エッジマスク
18. 輝度
19. LBX
20. 4:3
21. ランプモード
22. モード
23. 4 方向選択キー

プロジェクターの接続

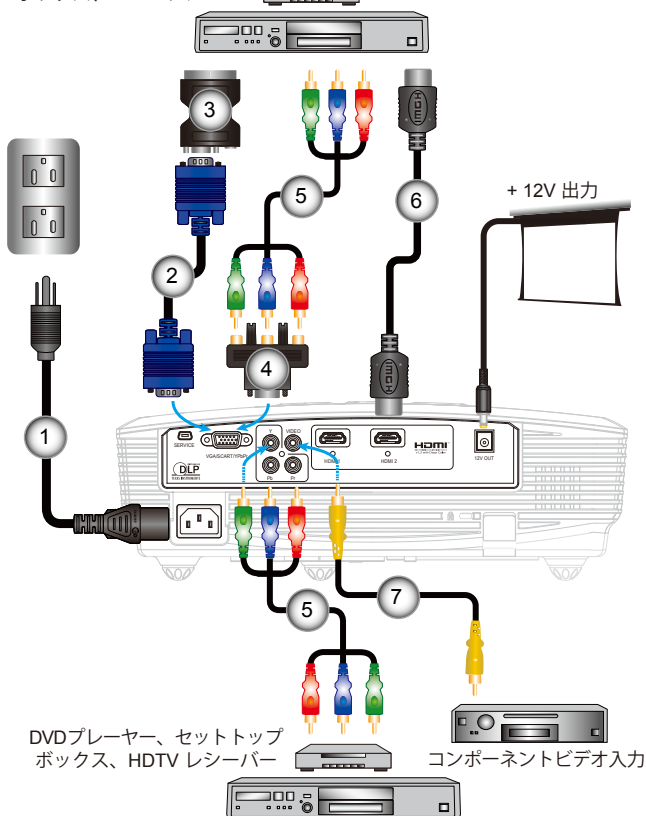
コンピュータ / ノート パソコンへの接続

❖ [12VOUT]は、トリガ制御のみに使用します。 電源供給用ポートではありません。

❖ [12V OUT] は、プロジェクターの電源が入ったときに有効になり、プロジェクターの電源を切るまでその状態が続きます。

Note

❖ 付属品は、お住まい の国 や地域によって異なる場合があります。

❖ (*) オプションアクセサリ

1...電源コード
2..*USBケーブル
3... *VGAケーブル
4...*DVI/HDMIケーブル

ビデオソースへの接続

Note

- [12VOUT]は、トリガ制御のみに使用します。 電源供給用ポートではありません。
- [12V OUT] は、プロジェクターの電源が入ったときに有効になり、プロジェクターの電源を切るまでその状態が続きます。

Note

- 付属品は、お住まいの国や地域によって異なる場合があります。
- (*) オプションアクセサリ

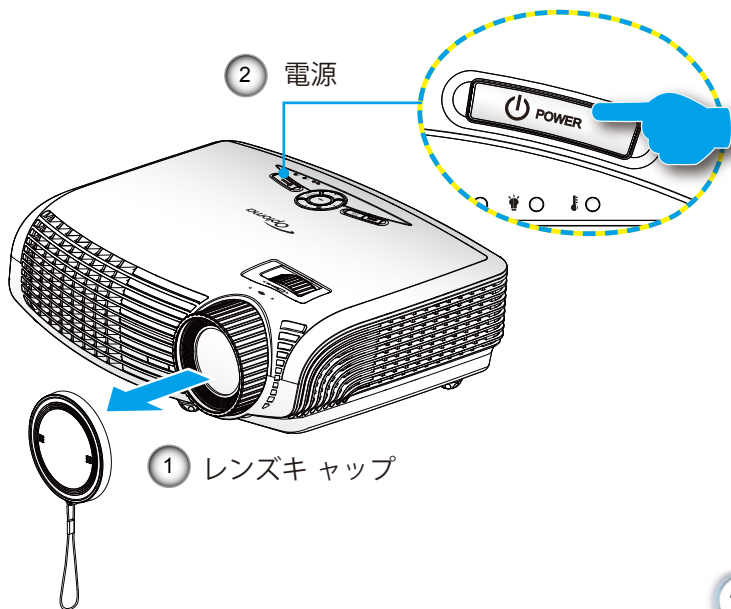
1...電源コード
2...*VGA ケーブル
3...*SCART/VGA アダプタ
4...............................*15ピン - 3 RCA コンポーネント / HDTV アダプタ
5..*3 RCA コンポーネント ケーブル
6...*HDMI ケーブル
7...*コンポジット ビデオ ケーブル

プロジェクターの電源オン/オフ

プロジェクターの電源を入れる

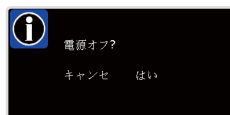
1. レンズキャップを取り外します。 ❶
2. 電源コードと信号ケーブルをしっかりと接続します。接続されると、オン/スタンバイ LED がオレンジに変化します。
3. プロジェクター上部またはリモコンの“⏻”ボタンを押して、ランプの電源を入れます。オン/スタンバイLEDが、緑に点灯します。 ❷

   起動画面は約 10 秒後に表示されます。プロジェクターを初めて使用する場合、起動画面が表示された後に、クイックメニューから使用言語を選択できます。
4. スクリーンに表示させせたい（コンピュータ、ノートパソコン、ビデオプレーヤーなど）ソースの電源を入れて、接続します。プロジェクターは自動的にソースを検出します。検出されない場合、[メニュー]ボタンを押して、[設定]を開きます。
   [ソースロック]が[オフ]になっていることを確認します。

❖ 複数のソースを同時に接続している場合は、コントロールパネルの[ソース]ボタンを押すか、またはリモコンの[ソース]ボタンを押すと、入力を切り換えることができます。

Note

❖ まず、プロジェクターの電源を入れた後、信号ソースを選択します。

プロジェクターの電源を切る

1. リモコンの“⏼”ボタンまたはプロジェクタ側面の“⏻”ボタンを1秒間の間隔を空けて2回押すと、プロジェクタの電源が切れます。 1回目のボタンを押す動作で、次のメッセージが画面に表示されます。

 “⏼” ボタン （または “⏻” ボタン）をもう一度押すと、シャットダウンを確定します。 ボタンが押されなかった場合、メッセージの表示は15秒で終わります。

2. 冷却ファンが冷却サイクルを終了するまで約60秒間動作を続け、その間、オン/スタンバイ LEDは緑に点滅します。オン/スタンバイLEDがオレンジに点灯すると、プロジェクターがスタンバイモードに入ったことを示します。

 プロジェクターの電源を再び入れたい場合、プロジェクターが冷却サイクルを終了して、スタンバイモードに入るのを待つ必要があります。スタンバイモード中は、“⏻”ボタンを押すだけでプロジェクターを立ち上げることができます。

3. 電源コードをコンセントおよびプロジェクターから抜きます。
4. 電源を切った直後は、プロジェクターの電源を入れないでく

- このような症状が見られる場合は、最寄りのサービスセンターまでご連絡下さい。詳細は、55-56 ページを参照してください。

警告インジケータ

- ランプ インジケータ LED が赤色に点灯している (オン/スタンバイLEDはオンレジに点滅)場合、プロジェクターは自動的にシャットダウンします。お近くのサービスセンターにご連絡ください。

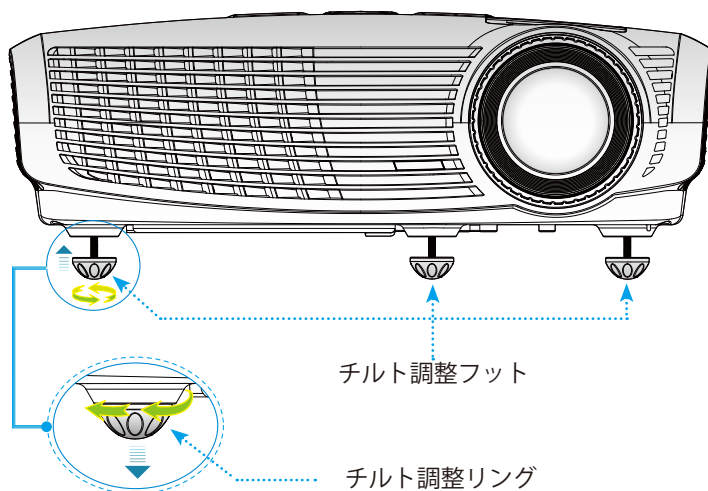
- 温度インジケータ LED が赤色に点灯している （オン/スタンバイ LEDはオンレジに点滅） 場合、プロジェクターが過熱状態であることを意味します。プロジェクターは、自動的にシャットダウンします。
 通常の条件下で、プロジェクターは、冷ました後に再び電源を入れることができます。

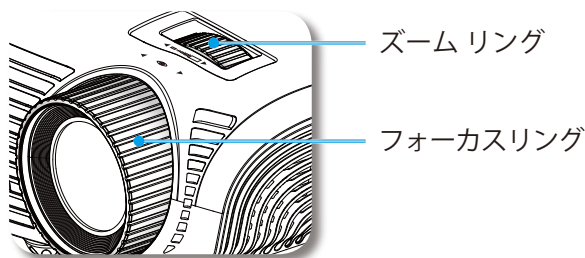
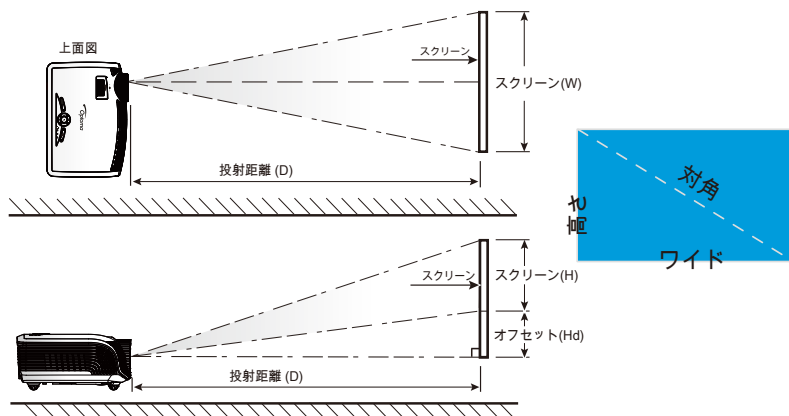
- 温度インジケータ LED が赤色に点滅している （オン/スタンバイLEDはオンレジに点滅）場合、ファンが故障していることを意味します。

投射映像の調整

プロジェクターの高さを調整する

プロジェクターには、投射映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

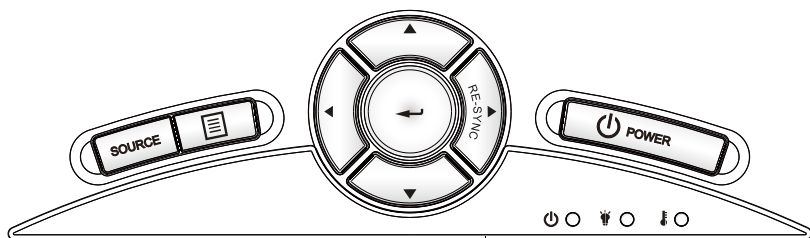
1. プロジェクターの底面にある、チルト調整フットの位置を確認します。
2. 調整リングを反時計方向に回すとプロジェクターの高さが高くなり、時計方向に回すと低くなります。

プロジェクターのズーム/フォーカスを調整する

ズームリングを回してズームイン/ズームアウトします。映像のピントを調節するには、くっきりした映像が表示されるように、フォーカスリングを回します。本プロジェクターは、1.49~9.96mの距離内でピントを合わせることができます。

投射映像サイズと投射距離

16:9 スクリーンの対角 (インチ)	スクリーンサイズ 幅 X 高さ				投射距離 (D)				オフセット (Hd)	
	(m)		(フィート)		(m)		(フィート)			
	幅	高さ	幅	高さ	幅	テレ	幅	テレ	(m)	(フィート)
38	0.84	0.47	2.76	1.55	-	1.51	-	4.97	0.08	0.25
45	1.00	0.56	3.27	1.84	1.49	1.79	4.89	5.88	0.09	0.29
50	1.11	0.62	3.63	2.04	1.66	1.99	5.45	6.54	0.10	0.33
60	1.33	0.75	4.36	2.45	1.99	2.39	6.54	7.84	0.12	0.39
70	1.55	0.87	5.08	2.86	2.32	2.79	7.63	9.15	0.14	0.46
80	1.77	1.00	5.81	3.27	2.66	3.19	8.72	10.46	0.16	0.52
90	1.99	1.12	6.54	3.68	2.99	3.59	9.81	11.77	0.18	0.59
100	2.21	1.25	7.26	4.09	3.32	3.98	10.89	13.07	0.20	0.65
120	2.66	1.49	8.72	4.90	3.98	4.78	13.07	15.69	0.24	0.78
150	3.32	1.87	10.89	6.13	4.98	5.98	16.34	19.61	0.30	0.98
200	4.43	2.49	14.53	8.17	6.64	7.97	21.79	26.15	0.40	1.31
300	6.64	3.74	21.79	12.26	9.96	-	32.68	-	0.60	1.96

❖ 図は、ユーザーの参考用の目安です。

コントロールパネルおよびリモコン

機能を設定する方法は、次の 2 通りあります:
コントロール パネル、そしてリモコンです。

コントロールパネル

コントロールパネルのボタン

POWER (電源)	21-22 ページの「プロジェクターの電源オン/オフ」を参照してください。
RE-SYNC (再同期)	プロジェクターが自動的に入力ソースと同期します。
エンター	選択した項目を確定します。
SOURCE (ソース)	[ソース]を押して入力信号を選択します。
MENU (メニュー)	[メニュー]を押してオンスクリーン (OSD) メニューを起動します。OSD を終了するには、もう一度[メニュー]を押します。
4 方向選択キー	▲▼◀▶ を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
ランプインジケータ LED	プロジェクターのランプのステータスを表示します。
温度インジケータ LED	プロジェクターの温度ステータスを表示します。
オン/スタンバイ LED	プロジェクターのステータスを表示します。

リモコン

リモコンのボタン

電源オン	⏻	21ページの「プロジェクターの電源を入れる」のセクションをご参照ください。
電源 オフ	⏼	22ページの「プロジェクターの電源を切る」のセクションをご参照ください。
ランプモード		映像の輝度を高くします。 (41ページを参照してください)
モード		シネマ、ブライト、フォト、参照、ユーザーからディスプレーモードを選択します。
4:3	4:3	4:3のアスペクト比でイメージを拡大縮小します。
16:9	16:9	16:9のアスペクト比でイメージを拡大縮小します。
LBX	LBX	全画面幅でアナモルフィックに拡張されたムービーをレターボックス付きで表示します。イメージのアスペクト比が2.35:1以下の場合、元のイメージが一部失われます。
Native	N	入力ソースは、拡大縮小せずに表示されます。
Brightness (輝度)		映像の輝度を調整します。
Contrast (コントラスト)		映像の最暗部（黒）と最明部（白）の差の度合いを調整します。
EdgeMask		表示する画像の各エッジに、2、3のピクセルをマスクオフします。 画像ソースのディスプレー画像の端近くにノイズが出る場合、この機能を使用して調整します。.
ソースロック		全接続ポートを自動捜索するか、現在の接続ポートをロックするかを選択します。
Overscan		表示する画像の各エッジに、2、3のピクセルをマスクオフします。 画像ソースのディスプレー画像の端近くにノイズが出る場合、この機能を使用して調整します。.

リモコン

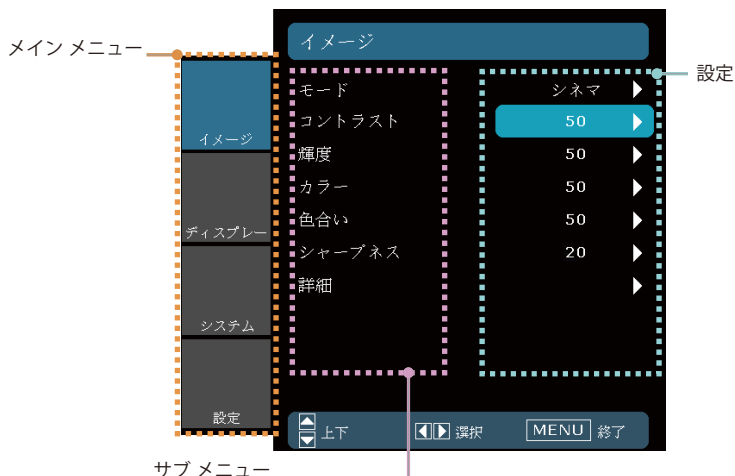
リモコンのボタン

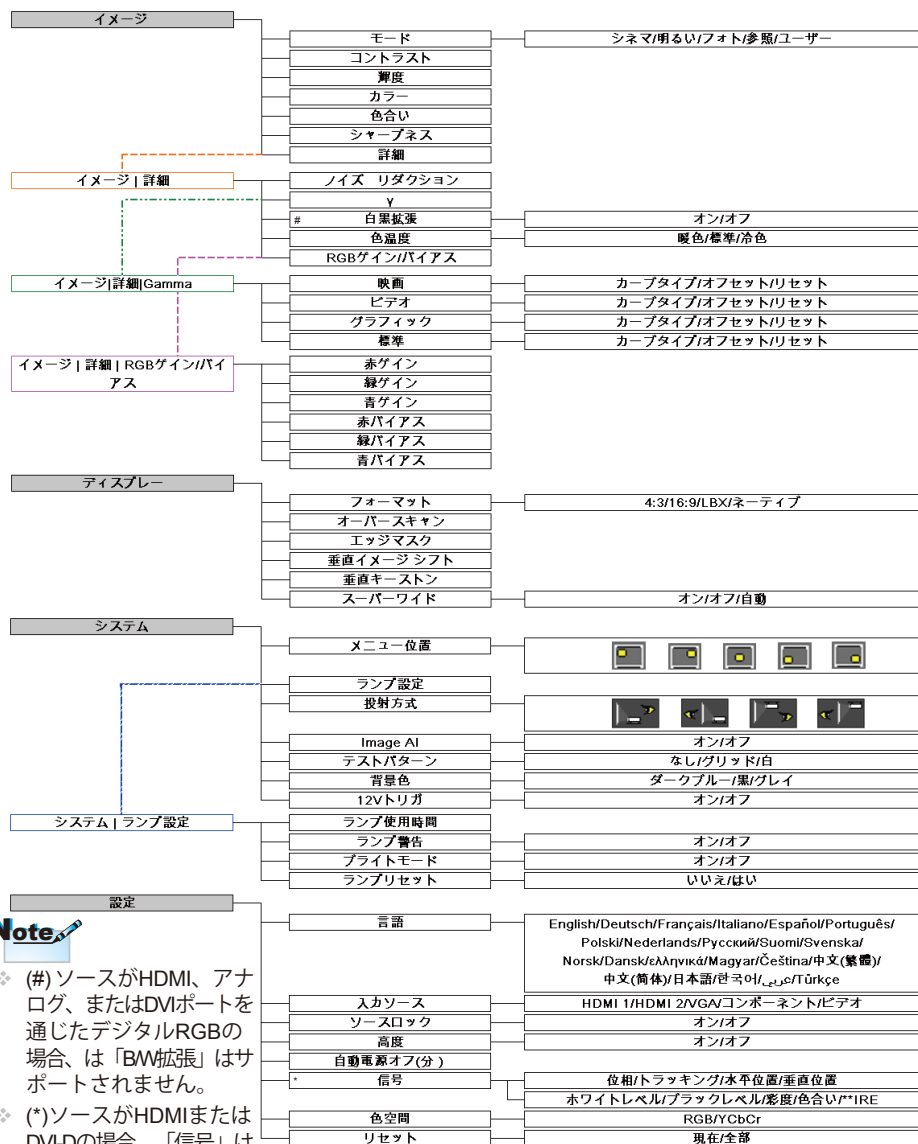
エンター	↵	選択した項目を確定します。
Source (ソース)	◀	[ソース]を押して入力信号を選択します。
Re-SYNC (再同期)	▶	プロジェクターが自動的に入力ソースと同期します。
Menu (メニュー)		[メニュー]を押してオンスクリーン (OSD) メニューを起動します。OSDを終了するには、もう一度[メニュー]を押します。
HDMI 1		「HDMI 1」を押してHDMI 1コネクタからソースを選択します。
HDMI 2		「HDMI 2」を押してHDMI 2コネクタからソースを選択します。
D-Sub		[D-Sub] を押してVGA/SCART/YPbPrコネクタを選択します。
YPbPr	⊙⊙⊙	[YPbPr]を押してコンポーネントビデオソースを選択します。
Video	⊡	[ビデオ (Video)] を押してコンポジット ビデオ ソースを選択します。
4 方向選択キー		▲ ▼ ◀ ▶ を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。

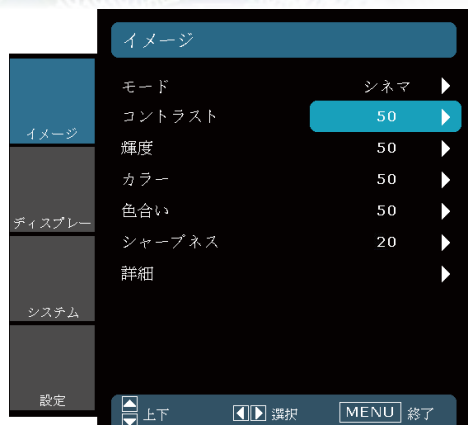
オンスクリーンメニュー

本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。

操作方法

1. OSDメニューを開くには、リモコンまたはプロジェクターキーパッドの[メニュー]ボタンを押します。
2 OSD が表示されたら、◀▶キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、▼または[エンター]キーを押してサブメニューへ進みます。
3. ▲▼キーを使って目的の項目を選択し、◀▶キーで設定を調整します。
4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. [エンター]ボタンを押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度[メニュー]ボタンを押します。オンスクリーンメニューが閉じられ、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。

ユーザーコントロール

メニューツリー

Note

- (#) ソースがHDMI、アナログ、またはDVIポートを通じたデジタルRGBの場合、は「B/W拡張」はサポートされません。
- (*)ソースがHDMIまたはDVI-Dの場合、「信号」はサポートされません。
- (**)「IRE」はNTSC信号のみでサポートされます。

イメージ

モード

さまざまな映像タイプに合わせて、いくつかのプリセット設定が用意されています。

- シネマ: ホームシアター用。
- 明るい: 最大輝度入力 。
- フォト: 写真画像の表示用に最適化されています。
- 参照:これは、映画監督が意図するような映像にできるだけ近づけたイメージを再現するモードです。色、色温度、コントラスト、γ設定はすべて標準の参照レベルに設定されます。
- ユーザー: ユーザーの設定。

コントラスト

コントラストは、画像や映像の最暗部（黒）と最明部（白）の差の度合いを調整します。

- ◀ を押すとコントラストが下がります。
- ▶ を押すとコントラストが上がります。

輝度

画像の輝度を調整します。

- ◀ を押すと映像が暗くなります。
- ▶ を押すと映像が明るくなります。

イメージ

カラー

ビデオ映像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

- ◀ を押すと 画像の 彩やかさが減少します。
- ▶ を押すと 画像の 彩やかさが増大します。

色合い

赤と緑のカラーバランスを調整します。

- ◀ を押すと画像の緑が強くなります。
- ▶ を押すと画像の赤が強くなります。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

- ◀ を押すとシャープネスが弱くなります。
- ▶ を押すとシャープネスが強くなります。

イメージ| 詳細

ノイズ　リダクション

Adaptive Noise Reductionという動作は、インターレースシグナルの可視ノイズの量を減らします。 範囲は「0」から「10」の間です。

(0:オフ)

白黒拡張

Black and White Extensionは、黒と白のレベルを引き伸ばし、自動的に入力映像のコントラストを増すことができます。 このユニットには、2つのプリセットモードがあり、異なる映像効果を利用するために切り替えられることができます。(オフ/オン)

Note

❖ ソースがHDMI、アナログ、またはDVIポートを通じたデジタルRGBの場合、は「白黒拡張」はサポートされません。.

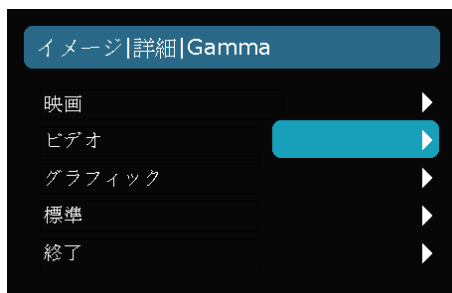
色温度

[冷色]に設定した場合、イメージは青みがかった色合いになります。(冷たいイメージ)

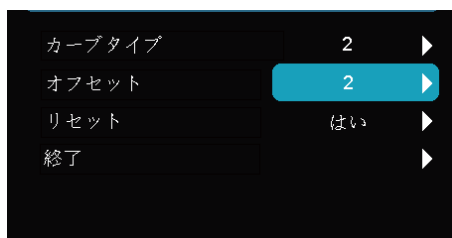
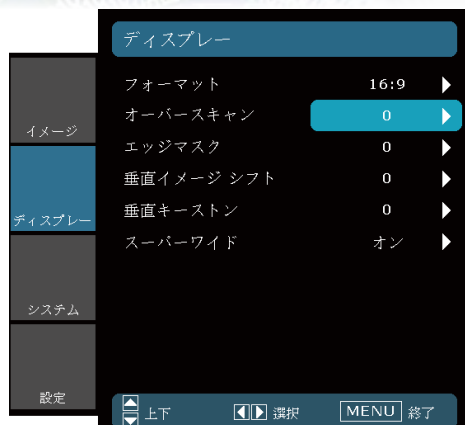
[暖色]に設定した場合、イメージは赤みがかった色合いになります。(暖かいイメージ)

RGBゲイン/バイアス

▶を押して次のメニューに入ると、以下のような画面が表示されます。 ▲または▼を使ってアイテムを選択します。◀または▶を使い、輝度（ゲイン）およびコントラスト（バイアス）に対して赤、緑、または青を選択します。

イメージ| 詳細

Gamma

これにより、ガンマのカーブタイプを設定できます。 初期のセットアップが完了し、 微調整が完成したら、映像出力を最適化するためにGamma Adjustment を使用します。

- 映画: ホームシアター用。
- ビデオ: ビデオまたは TV ソース用。
- グラフィック: イメージ ソース用。
- 標準: 標準化された設定用。

- カーブタイプ: ガンマカーブのタイプ。
- オフセット: ガンマの入力オフセットは、ガンマ カーブのベースポイントのスタートレベルの範囲に対応します。
- リセット: [はい] を選択すると工場出荷時の色調整に戻ります。

フォーマット

ここで、好みのアスペクト比を選択します。

- 4:3: このフォーマットは、4×3 入力ソース用です。
- 16:9: このフォーマットはワイドスクリーン TV 用に機能強化された HDTV、DVD などの、16x9 入力ソース用です。
- ネーティブ: このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- LBX:16x9ではないレターボックスソースを投写する場合や、外付けアナモルフィックレンズを使用して画像を2.35:1アスペクト比で最大解像度により投写する場合に選択します。。

LBXモードに関する詳細情報:

1. いくつかのレターボックスDVDは、16x9テレビ用に高画質化されていません。 このような場合、16: 9 モードで表示させると映像を正しく見れません。

   このような場合は、DVDを見るために4:3 モードの使用をお試しください。

   しかし、コンテンツ自体が4:3でない場合、16:9ディスプレーの画像の回りに黒いバーが表示されます。 このようなタイプのコンテンツには、LBXモードを使用して、16：9ディスプレー上に 画像のイメージを埋め込むことができます。

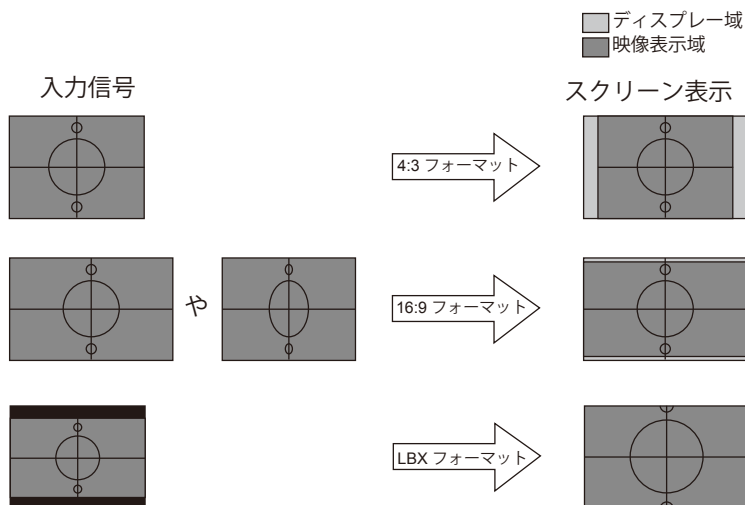
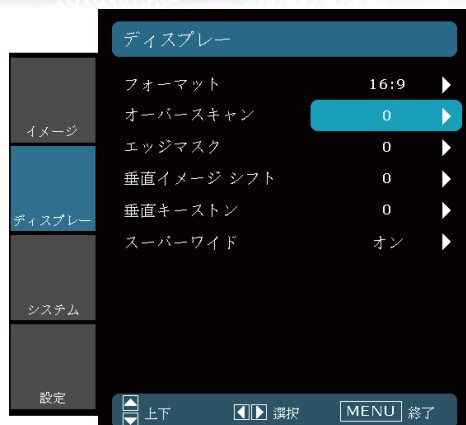
2. 外部アナモルフィックレンズを使用する場合、このLBXモードによりアナモフィックワイドをサポートする2.35:1コンテンツ(アナモフィックDVDとHDTVフィルムソースを含む)を視聴することも可能で、ワイド2.35:1画像では16x9ディスプレーに対して機能強化されています。

   この場合は、黒いバーが見えません。ランプパワーと垂直解像度が完全に使用されています。

ディスプレー域
映像表示域

入力信号

スクリーン表示

や

ディスプレー

Note

- 各入出力は、別の「オーバースキャン」設定があります。
- 「オーバースキャン」と「エッジマスク」は同時に使用できません。

オーバースキャン

オーバースキャン機能では、ビデオ映像のノイズを除去します。イメージをオーバースキャンしてビデオソースのエッジのビデオエンコードノイズを削除します。

エッジマスク

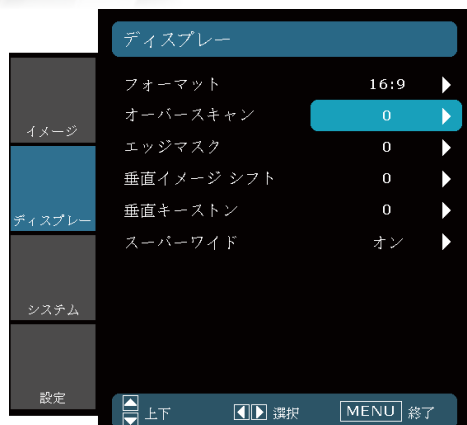
- ◀ を押すとイメージのサイズが小さくなります。
- ▶ を押すとスクリーンに投射されたイメージが拡大します。

垂直イメージ シフト

投射された画像位置を垂直に移動します。

垂直キーストン

映像の縦のゆがみを調整するには、◀ または▶ を押します。イメージが台形に見える場合、このオプションを使用すると長方形の映像にすることができます。

ディスプレー

スーパーワイド

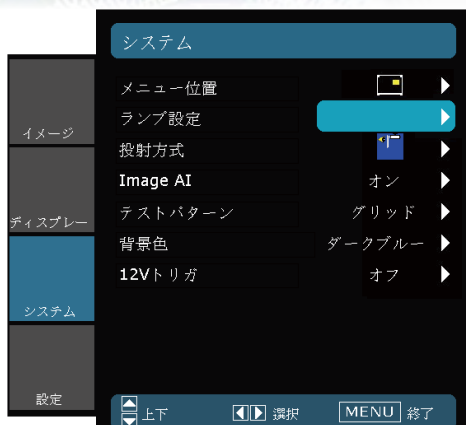
スーパーワイドは特殊な2.0:1アスペクト比画面を使用して、16:9と2.35:1アスペクト比のムービーを、画面の上下に黒いバーなしに表示することができる機能です。

- オフ: 希望するアスペクト比は4:3、16:9、レターボックス、ネーティブから選択できます。
- オン: 4:3と16:9のフォーマットのみを選択できます。
- 自動:フィルム形式の違いを解決するために、オプションで形式を同じ比に維持することができます。

❖ [スーパーワイド]は、デフォルトでは[オフ]です。

[SuperWide].の使用法

1. 2.0:1アスペクト比の画面を表示します 。
2. SuperWideをオンに切り替えます 。
3. プロジェクター の画像を画面に正しく合わせます 。
4. 黒いバーなしにムービーをお楽しみいただけます 。

システム

メニュー位置

スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。

投射方式

- 正面-卓上

  これは、デフォルト設定です。映像がスクリーン上にまっすぐに投射されます。

- 裏面-卓上

  選択されると、映像を左右逆向きに表示します。

- 正面-天吊り

  選択されると、映像を上下逆向きに表示します。

- 裏面-天吊り

  選択されると、映像を上下･左右逆向きに表示します。

Note

- 裏面-卓上および裏面-天吊りは、半透明なスクリーンを使用する際に使用できます。

システム

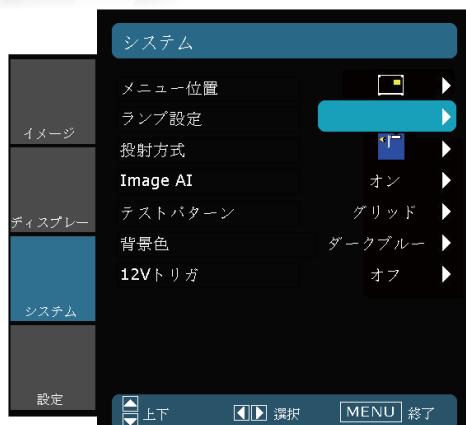
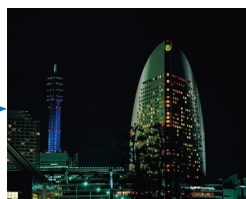
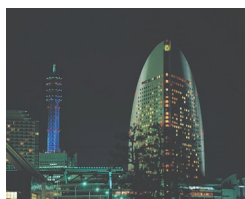
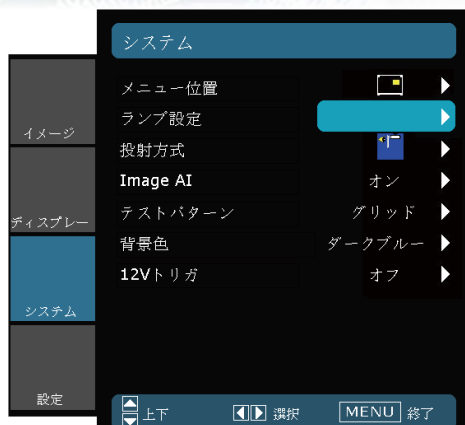



Image AI

イメージAIは、映像のコンテンツに従ってランプの輝度を最適化することにより、映像のコントラストの向上を図っています。

- オン:ダイナミック画像パフォーマンスマネージャがアクティブになっていると、映画のもっとも暗い細部まで明瞭に再現され、全編を通して鮮明で明るい画像パフォーマンスをお楽しみいただけます。
- オフ:ダイナミックなイメージパフォーマンスマネージャは、スタンバイ状態にあります。

システム

テストパターン

テストパターンを表示します。[格子]、[ホワイトパターン]、[なし]があります。

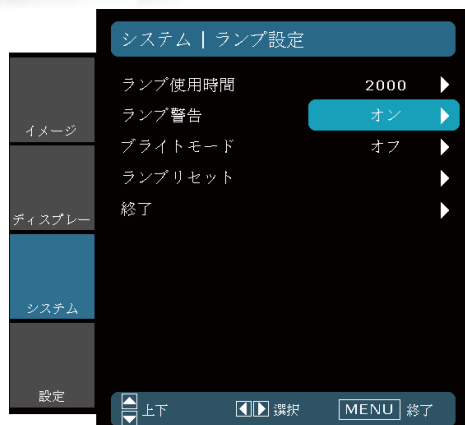
背景色

信号が使用できないとき、この機能を使用して[ダークブルー]、[黒]、[グレイ]、画面を表示します。

12Vトリガ

12Vトリガは、電動画面に標準トリガを提供します。

- [12VOUT]は、トリガ制御のみに使用します。電源供給用ポートではありません。
- [12V OUT] は、プロジェクターの電源が入ったときに有効になり、プロジェクターの電源を切るまでその状態が続きます。

システム / ランプ設定

ランプ使用時間

ランプの累計運転時間を表示します。

ランプ警告

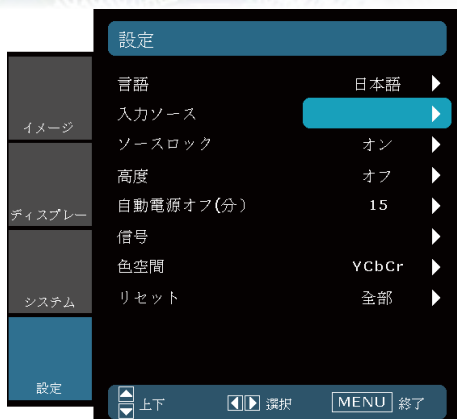
ランプ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。メッセージは、推奨されるランプの交換の約30時間前から表示されます。

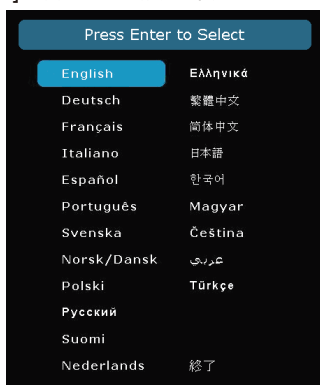
ブライトモード

[オン]を選択すると明るさが増します。「オフ」を選択すると通常モードに戻ります。

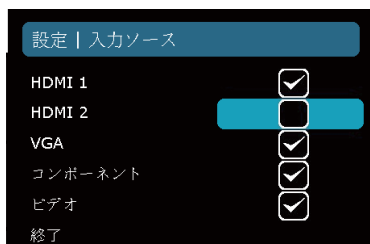
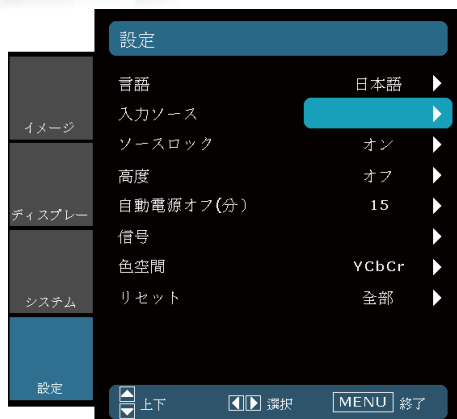
ランプリセット

ランプ交換後、ランプの寿命カウンタをリセットする際に使用します。

設定

言語

多言語対応オンスクリーンメニューを選択して下さい。サブメニューの◀または▶を押し、▲ または▼ キーを使ってお好みの言語を選択します。[ENTER]を押すと選択が確定されます。

入力ソース

入力ソースを有効/無効にする際に使用します。 ↵ を押して、サブ メニューに入り、必要なソースを選択します。[ENTER] を押すと選択が確定されます。 プロジェクターは、非選択状態の入力を検索しません。

設定

ソースロック

この機能がオフになっているとき、現在の入力信号が失われた場合プロジェクターは他の信号を検索します。この機能がオンになっているとき、指定された接続ポートを検索します。

高度

[オン] を選択すると高度モードが有効になります。 ファンが最高速度で連続動作し、高海抜エリアにおいてプロジェクターを適切に冷却します。

自動電源オフ(分)

信号入力がない場合、システムが電源オフになる間隔を(分単位で)設定します。

色空間

RGBまたはYCbCrから適切なカラーマトリックスタイプを選択します。

リセット

値や設定を、工場出荷時設定に戻します。

- 現在:現在のメニューの設定が工場出荷時設定に戻ります。
- 全部:すべてのメニューの設定が工場出荷時設定に戻ります。

設定 | 信号
-RGB ソース

Note

❖ ソースがHDMIまたはDVI-Dの場合、「信号」はサポートされません。

信号

- 位相: ディスプレーデータ周波数を変更して、コンピュータのグラフィックカード周波数に適合させます。 映像に縦の縞模様やちらつきが表れる場合は、この機能を使って調整します。
- トラッキング: ディスプレーの信号タイミングをグラフィックカードと同期させます。画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。
- 水平位置: 水平位置を調整します。
- 垂直位置: 垂直位置を調整します。

設定 | 信号 - ビデオソース

信号

- ホワイトレベル: Sビデオまたはビデオ/CVBSシグナルを入力するときは、ユーザー調整によるホワイトレベルを許可します。
- ブラックレベル: ビデオまたはビデオ/CVBSシグナルを入力するときは、ユーザー調整によるブラックレベルを許可します。
- 彩度: ビデオ映像を、白黒から完全飽和色まで調整します。 ◀を押すと画像の色の量が減少します。▶を押すと画像の色の量が増加します。
- 色合い: 赤と緑のカラーバランスを調整します。 ◀を押すと画像の緑が強くなります。 ▶を押すと画像の赤が強くなります。
- IRE: コンポジットビデオ信号の測定値を調整します。

Note

- ソースがHDMIまたはDVI-Dの場合、「信号」はサポートされません。

Note

- 「IRE」はNTSC信号のみでサポートされます。

故障かなと思ったら

問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

映像の問題

? スクリーンに映像が写らない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- コネクタのピンが曲がっていないか、または壊れていないか確認してください。
- プロジェクターランプが正しく取り付けられているか確認してください。「ランプの交換」を参照してください。
- レンズキャップが付いていないか、また、プロジェクターの電源が入っているか確認してください。

? 画像のピントが合っていない

- レンズのキャップを取り外していることを確認してください。
- プロジェクターレンズのフォーカスリングで調整してください。
- プロジェクターと投射スクリーン間の距離が 1.49～9.96 m 以内の使用目安範囲内あることを確認してください。24ページを参照してください。

? 16:9 DVDタイトルを再生表示しているとき、映像が伸びる

- アナモフィックDVDまたは16:9DVDを再生しているとき、プロジェクターはプロジェクター側で16:9フォーマットで最高の画像を表示します。
- LBXフォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクターOSDでフォーマットをLBX に変更してください。
- 4:3フォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクターOSD で 4:3 にフォーマットを変更してください。
- それでも映像が伸びるときは、次の手順に従ってアスペクト比を変更する必要があります。
- お使いのDVDプレーヤーで、16:9(ワイド)アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

? 画像が小さすぎるまたは大きすぎる

- プロジェクター上部のズームリングを調整します。
- プロジェクターをスクリーンに近づけたり離したりしてください。
- リモコンまたはコントロールパネルの[メニュー]ボタンを押して、[ディスプレー→フォーマット]に移動し異なる設定を試してください。

? 画像の両側が斜めになる

- 可能であれば、プロジェクターが水平にスクリーンの中央画面の一番下以下に来るように配置し直してください。

? イメージが反転する

- スクリーンメニューから[システム→投射方式]を選択し、投射方向を調整してください。

その他の問題

? プロジェクターがすべての操作不可能です

- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、60秒待ってから電源を接続し直してください。

? ランプが消える、またはランプから破裂音がする

- ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクターの電源を入れることはできません。「ランプの交換」（50～51ページ）に記載の手順に従ってランプを交換してください。

プロジェクターステータスの表示

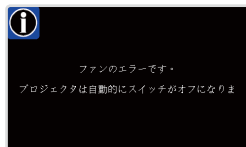
LED 点灯メッセージ

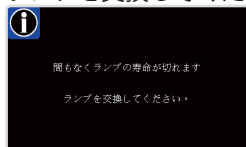
点灯 ⇨ ☼
消灯 ⇨ ○

メッセージ	オン/スタンバイ LED	温度インジケータ LED	ランプ インジケータ LED
	(緑/オレンジ)	(赤)	(赤)
スタンバイ状態 (電源コード接続済)	オレンジ	○	○
電源オン (ウォーミング)	緑で点滅	○	○
ランプ点灯	緑	○	○
電源オフ(冷却)	緑で点滅	○	○
エラー（過熱）	オレンジで点滅	☼	○
エラー（ファントラブル）	オレンジで点滅	点滅	○
エラー（ランプトラブル）	オレンジで点滅	○	☼

* オン/スタンバイ LEDは、OSDが表示されたときにオンになり、OSDが消えたときにオフになります。

オンスクリーンメッセージ

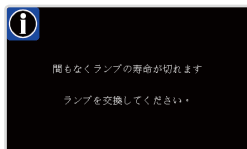
- ファンのトラブル:
  プロジェクターは自動的にスイッチがオフになります。

- 過温度:
  プロジェクターは自動的にスイッチがオフになります。

- ランプの交換:
  ランプがその定格寿命の終わりに近づいています。
  ランプを交換してください。

リモコンの問題

リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの操作角度が、プロジェクタの IR レシーバーから水平および垂直方向に ±15° 以上ずれていないことを確認します。
- リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを 確認する。プロジェクターから 8 m 以内 (±0°) に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認する。
- 古くなった電池は、新しいものと交換します。

ランプの交換

プロジェクターはランプの寿命を自動的に検出します。ランプの寿命に近づいている場合、警告メッセージが表示されます。

このメッセージが表示されたら、できる限り速やかに最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。ただし、ランプを交換する前に、プロジェクターが十分に放熱するまで約最低30分お待ちください。

CAUTION!

HIGH PRESSURE LAMP MAY EXPLODE IF IMPROPERLY HANDED. REFER TO LAMP REPLACEMENT INSTRUCTIONS.

ATTENTION:
Les lampes à haute pression peuvent exploser si elles sont mal utilisées.
Confier l'entretien à une personne qualifiée.

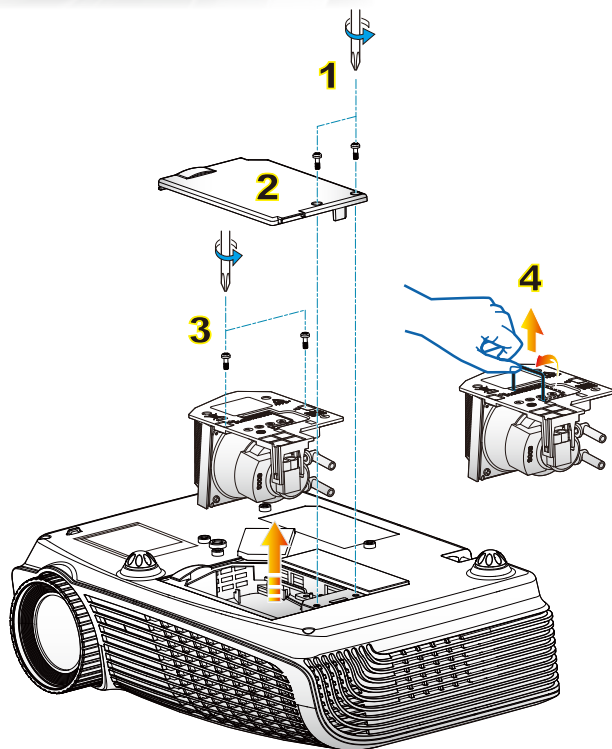
⚠警告:天上から吊り下げる場合、ランプアクセスパネルを開けるときは注意してください。天井から吊り下げている状態で電球を交換する場合、安全メガネを着用することをお勧めします。「プロジェクターからゆるんだ部品が落下しないように、注意を払う必要があります」。

⚠警告:ランプ周辺は高熱になっています。放熱を待ち、ランプが十分に冷めてから交換してください。

⚠警告:怪我を防止するため、ランプを落下させたり、ランプのバルブに触れることのないようご注意ください。バルブが落下すると粉々に砕けて飛び散り、怪我をする恐れがあります。

❖ ランプカバーとランプに付いたネジを外すことはできません。

❖ プロジェクターにランプカバーが戻されなかった場合、プロジェクターは動作しません。

❖ ランプのガラス部分には、触れないようにしてください。手の油分が付着すると、ランプが破裂する恐れがあります。誤ってガラス部分に触れてしまった場合は、乾いた布を使ってランプモジュールを拭いてください。

ランプ交換手順:

1. "⏻"ボタンを押してプロジェクターの電源を切ります。
2. ランプが十分に冷めるまで約 30 分間お待ちください。
3. 電源コードを外します。
4. カバーの上に付いた 2 つのネジをゆるめます。1
5. カバーを持ち上げて、取り外します。2
6. ランプモジュールの上に付いた2つのネジをゆるめます。3
7. ランプハンドルを持ち上げて、ランプモジュールをゆっくりと注意深く移動します。4

ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。

8. ランプモジュールを交換したら、プロジェクターの電源を入れ「ランプリセット」をオンにします。

ランプリセット: (i) [メニュー]を押し→(ii) [オプション]を選択し→(iii) [ランプ設定]を選択し→(iv) [ランプリセット]を選択し→(v) [はい]を選択します。

互換モード

コンピュータの互換性

モード	解像度	垂直同期 (Hz)	アナログ	デジタル
SVGA	800 x 600	56	✓	×
	800 x 600	60	✓	✓
	800 x 600	72	✓	✓
	800 x 600	75	✓	✓
	800 x 600	85	✓	✓
XGA	1024 x 768	60	✓	✓
	1024 x 768	70	✓	✓
	1024 x 768	75	✓	✓
	1024 x 768	85	✓	×
WXGA	1280 x 768	60	✓	✓
	1280 x 800	60	✓	×
HD	1280 x 720	60	✓	✓
	1280 x 1024	60	✓	✓
	1280 x 1024	75	✓	✓
	1920 x 1080	24	×	✓
	1920 x 1080	60	×	✓
SXGA+	1400 x 1050	60	✓	✓
UXGA	1600 x 1200	60	✓	✓
Power Book G4				
SVGA	800 x 600	60	✓	×
	800 x 600	75	✓	×
	800 x 600	85	✓	×
XGA	1024 x 768	60	✓	×
	1024 x 768	70	✓	×
	1024 x 768	75	✓	×
	1024 x 768	85	✓	×
WXGA	1280 x 768	60	✓	×
HD	1280 x 720	60	✓	×
	1280 x 1024	60	✓	×
	1280 x 1024	75	✓	×
SXGA+	1400 x 1050	60	✓	×
UXGA	1600 x 1200	60	✓	×
iMAC				
XGA	1024 x 768	60	✓	×

Note

- ワイドスクリーン解像度(WXGA)では、サポートされる互換性は、ノートパソコン/デスクトップコンピュータのモデルに依存します。

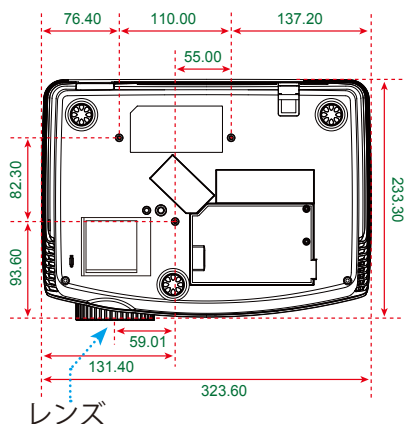
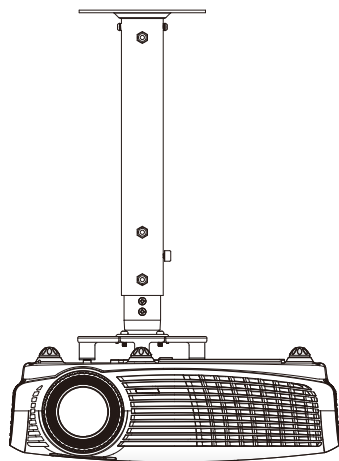
ビデオ互換性

NTSC	M (3.58MHz), 4.43 MHz
PAL	B, D, G, H, I, M, N
SECAM	B, D, G, K, K1, L
SDTV/HDTV	480i/p, 576i/p, 720p@50Hz/60Hz, 1080i/p@50Hz/60Hz

天井への取り付け

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ず Optoma の天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください:
   - ネジの種類: M3*3
   - 最大ネジ長: 10mm
   - 最小ネジ長: 7.5mm

- プロジェクターを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。

警告:
1. 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
2. プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにします。
3. プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。

単位: mm

Optoma 社 お問い合わせ先

サービスやサポートにつきましては、最寄のオフィスまでご連絡ください。

アメリカ

715 Sycamore Drive	電話: 408-383-3700
Milpitas, CA 95035, USA	Fax : 408-383-3702
www.optomausa.com	電子メール: services@optoma.com

カナダ

5630 Kennedy Road, Mississauga,	電話: 905-361-2582
ON, L4Z 2A9, Canada	Fax: 905-361-2581
www.optoma.ca	電子メール: canadacsragent@optoma.com

ヨーロッパ

42 Caxton Way, The Watford Business Park

Watford, Hertfordshire,	
WD18 8QZ, UK	電話: +44 (0) 1923 691 800
www.optoma.eu	Fax : +44 (0) 1923 691 888
カスタマーサービス Tel : +44 (0)1923 691865	電子メール: service@tsc-europe.com

フランス

Bâtiment E	電話: +33 1 41 46 12 20
81-83 avenue Edouard Vaillant	Fax : +33 1 41 46 94 35
92100 Boulogne Billancourt, France	Service : savoptoma@optoma.fr

スペイン

C/ José Hierro,36 Of. 1C	電話: +34 91 499 06 06
28529 Rivas VaciaMadrid,	Fax : +34 91 670 08 32
Spain	

ドイツ

Werftstrasse 25	電話: +49 (0) 211 506 6670
D40549 Düsseldorf,	Fax : +49 (0) 211 506 66799
Germany	電子メール: info@optoma.de

スカンジナビア

Grev Wedels Plass 2	電話: +47 32 26 89 90
3015 Drammen	Fax : +47 32 83 78 98
Norway	電子メール: info@optoma.no

南米

715 Sycamore Drive	電話: 408-383-3700
Milpitas, CA 95035, USA	Fax : 408-383-3702
www.optoma.com.br	www.optoma.com.mx

韓国

WOOMI TECH.CO.,LTD.
4F,Minu Bldg.33-14, Kangnam-Ku,
seoul,135-815, KOREA

電話: +82+2+34430004
Fax : +82+2+34430005

日本

東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエスエム
サポートセンター:0120-46-5040

電子メール: info@osscreen.com
www.os-worldwide.com

台湾

5F., No. 108, Minchiuan Rd.
Shindian City,
Taipei Taiwan 231, R.O.C.
www.optoma.com.tw

電話: +886-2-2218-2360
Fax : +886-2-2218-2313
電子メール: services@optoma.com.tw
asia.optoma.com

香港

Unit A, 27/F Dragon Centre,
79 Wing Hong Street,
Cheung Sha Wan,
Kowloon, Hong Kong

電話: +852-2396-8968
Fax : +852-2370-1222
www.optoma.com.hk

中国

5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,
Changning District
Shanghai, 200052, China

電話: +86-21-62947376
Fax: +86-21-62947375
www.optoma.com.cn

規制と安全に関する通知

この付録では、お使いのプロジェクターの一般的通知を一覧表示しています。

FCC通知

この機器は、FCC 規則の Part 15 / RSS-210に基づいて試験が実施され、デジタル デバイス クラス B の限度値に適合していることが確認されています。 これらの限度値は、住宅地でこれらの機器が利用される際に、有害な電波干渉に対して適切な保護を提供することを目的に、設定されています。 この機器は、無線周波数エネルギーを生成、使用および放射するため、取扱説明書に従わずに設置および使用した場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす恐れがあります。

しかしながら、一定の設置に対して、電波干渉は必ず発生しないという保証はありません。 この機器が実際にラジオやテレビの受信障害を引き起こす場合 (機器の電源をオンやオフに切り替えることで確認できます) は、以下のいずれかの方法を1つまたは1つ以上お試しいただき、電波干渉を改善されることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変えたり、設置場所を変えてみる。
- 受信機と機器との距離を遠ざける。
- 受信機が接続されているコンセントとは別の回線を使ったコンセントに、機器のプラグを接続する。
- 販売店またはラジオ/テレビの専門技術者に、他の方法について問い合わせる。

通知: シールドされたケーブル

他のコンピュータ装置へのすべての接続には、FCC 規制に準拠するためにシールドされたケーブルを使用する必要があります。

注意

FCC 準拠に責任を持つ第三者からの明確な許可を受けることなく、本体に製造元から承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。

操作条件

本製品は FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に規制されます:

1. 電波障害を起こさないこと
2. 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

通知: カナダのユーザー

このクラス B デジタル機器はカナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numerique de la classe B est conforme a la norme NMB-003 du Canada.

EU 諸国に対する適合宣言

- EMC指令 2004/108/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令 2006/95/EC
- R & TTE 指令1999/5/EC (製品に RF 機能が搭載されている場合)

廃棄に関する指示

この電子デバイスを処分するとき、ごみ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え地球環境を最大限に保護するため、本製品をリサイクルしてください。